



発行責任者 田淵 伸一郎
宮崎県社会福祉士会事務局
電話 0985-86-6111

平成最後の師走も残り少なくなりましたが、会員の皆様方には多方面にわたる活動に尽力いただきましてまことにありがとうございます。6月から新たに宮崎県委託事業である「宮崎県家計相談支援事業」も受託し、職能団体として益々重要な役割を担っていくこととなります。

さらに平成30年6月の定時社員総会で前年度の事業報告並びに決算報告が承認され、新たな組織体制をスタートさせて、これまで以上に各委員会・研修会開催等、会員の皆様のご協力の元に充実した一年でした。近々で予定されている研修会のご案内をいたしますので、会員の皆様、ぜひともご参加ください。

瑞宝小綬章受賞おめでとうございます

平成30年11月3日、宮崎県社会福祉士会顧問である、黒木行洋氏が秋の叙勲において「瑞宝小綬章」を受賞されました。これを記念して、下記の通り報告会を開催いたします。

1. 日時 2019年1月12日(土) 17:15~20:00
2. 会場 ホテルマリックス 2階 会議室及び宴会場
3. 内容・日程(予定)
 - 17:15~ 開会(17:00~17:15受付)
 - 17:20~18:00 『九州・沖縄ブロック研修会報告』【報告者】家計相談支援員 松元 貴代子
 - 18:00~20:00 宮崎東諸県ブロック新年会・黒木 行洋 顧問の叙勲受賞報告会
 - 20:00 閉会

平成30年度 宮崎県地域生活定着支援センター普及啓発セミナー

平成21年度から厚生労働省と法務省が協同し福祉へ繋ぐ専門機関として地域生活定着支援センターが設置されました。宮崎県より委託を受けた本年度は「罪を犯した人への支援」をテーマにセミナーを開催致します。

テーマ 「ソーシャルインクルージョン」

“罪を犯した人に寄り添うために私ができること”

- 主催 宮崎県・一般社団法人 宮崎県社会福祉士会
 日時 2019年1月26日(土) 13:30~16:30
 会場 宮日会館 宮日ホール11階
 参加対象 行政機関、司法・福祉・医療関係者、一般市民等
 参加費 無料



第8回九州沖縄ブロック社会福祉士研修会 沖縄大会のご報告!

「未来と今を支える支援 沖縄で考える 『沖縄』から考える」を大会テーマとして掲げ、九州沖縄ブロック研修会沖縄大会が11/24, 25に沖縄県総合福祉センターにて行われました。宮崎は寒くなり始めた時期でしたが、沖縄は半袖で過ごせるくらいの暖かさでした。初日に分科会が行われ、宮崎からは「家計相談支援事業の活動」について松元貴代子様へ報告して頂きました。

2日目は、演出・脚本家である平田大一氏から、沖縄の子どもたちとの関わりについて話をされ、沖縄でよく取り上げられる「子どもの貧困」についてシンポジウムが行われました。

宮崎県社会福祉士会会長の挨拶



地元沖縄のアトラクション「エイサー」

家計相談支援事業活動報告の様子



部門別お知らせ・活動等のご報告

基盤強化総務部門

- 平成30年4月より委託事業としてスタートした地域定着支援事業に加え、6月から新たに生活困窮者家計相談支援事業も開始されました。
中武センター長以下、4名の相談員が活動しておりますのでご紹介いたします。
【地域定着支援相談員】 山下泰生 濱田新 新名香織
【地域定着支援相談員・家計相談支援員】 松元貴代子
どうぞよろしく願いいたします。
- 平成30年11月14日を皮切りにスタートしました相談支援従事者研修およびサービス管理責任者研修も中盤に入り、分野ごとの研修・専門コース研修を年明けに控えております。
- 福祉サービス第三者評価事業では、今年度4件の受審依頼がきております。評価調査者のご協力を得ながら、受審施設の「よりよい福祉サービスの提供」の実現に向け、活動を進めて参ります。



ブロック活動部門



- 今年も各ブロックにおきまして、「顔の見える関係づくり」を基本に、各地域の特性なども併せまして、各種研修や意見交換会などを行っています。
各ブロックにおいてはブロック長をはじめ、多数の委員の協力のもと、多種多様な内容に取り組んでおられるようです。今年度も残りわずかではありますが、今後も各ブロックにおかれまして、研修会等が予定されていますので、ぜひ参加をご検討ください。

実践部門

3つの委員会が発足し、徐々に活動を始めております。近況報告と今後の活動についてお伝えします。

- 司法と福祉委員会
①出口支援を担う地域生活定着支援センターとの連携を踏まえ、合同会議を実施し、②入口支援に関する勉強会や③更生支援計画書作成のための養成研修企画等を進めていきます。
- 災害支援委員会
①災害支援福祉チームに関する勉強会、②社会福祉士が担う災害支援に関する研修会企画、③災害時に連携が必要な機関との連携、合同会議を進めていきます。
- 関係団体連携推進委員会
①県社会保険労務士会・子どもの支援を行っている団体等の関係団体と意見交換の場作り（きっかけ）、②関係団体との連携に関する調査・研究と課題整理を進めていきます。



生涯研修部門

- 今年度の基礎研修は、期間延長者を含めⅠが32名・Ⅱが32名・Ⅲが27名の方が受講されております。会場も県社協以外に南九州大学をお借りする事が多かったのですが、集合研修に加えて事前課題や修了レポート提出など日々研鑽されている受講生をサポートするべく、講師陣のご協力のもと開催できております。



- eラーニング講座視聴のおすすめ。

日本社会福祉士会では、現在eラーニング講座を提供・配信しています。宮崎県社会福祉士会会員の方は、2019年3月31日までは無料で受講（計19講座視聴可能）いただけます。なお、2019年4月1日以後は宮崎県社会福祉士会会員の皆様の視聴状況を踏まえた上で判断いたしますので、ぜひご利用してください。

講座は「制度等の動向」、「生涯研修・情報提供等」に分かれ、今後も講座が増える予定です。自己研鑽（リーガルソーシャルワークやスクールソーシャルワーク等）、生涯研修制度（基礎研修Ⅰ独自科目3科目配信決定）・



認定社会福祉士制度（更新時の「各分野の制度等の動向」で15時間1単位（必修）の単位にもなります。

また、独立型社会福祉士研修を受講するために視聴（これは有料（2160円）になっています。）が義務付けられています。

※ご利用は、下記（日本社会福祉士会の専用ページ）からお進みください。

http://www.jacsw.or.jp/15_TopLinks/eLearning/index.html#shicho

※eラーニング講座を利用する場合は、日本社会福祉士会の生涯研修制度管理システムにログインし、ご自身のメールアドレスを登録することが必要になります。そのシステムにログインをするためには、「ユーザーID（日本社会福祉士会会員番号）」と「パスワード」が必要となります。「パスワード」不明な方は、宮崎県社会福祉士会事務局まで氏名・生年月日・連絡先（電話番号）・日本社会福祉士会登録番号の4項目をメールにてお知らせください。

専門能力向上部門

- 12月22日に生活困窮者支援フォーラムを開催しました。初めに「貧困の現場から社会を変える」をテーマに立教大学大学院特任教授の稲葉剛様から、①路上生活者支援活動・②生活困窮者に対する空き家活用型住宅セーフティネット・③支援の初期段階で住まいを提供する考え方である「ハウジングファースト」・④住まいの次は仕事と居場所を創造していくといった内容でご講話頂きました。パネルディスカッションでは、家計相談支援サテライト支援員の河野様・ファイナンシャルプランナーの井川様・みやざき安心セーフティネット事業の相談員である河原様より、実務をもとにした生活困窮者層の生活実状や支援内容をお話していただきました。支援者どうしの連携度合いが道半ばとの課題提起もあり、生活困窮者支援活動の充実に向けて頑張っていくこととなりました。



- 「包括的相談支援及び地域課題解決体制を担うソーシャルワーク人材育成体制の構築及びそのパイロット事業の実施に関する調査研究事業」宮崎委員会の取り組みについて

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟「厚生労働省平成30年度社会福祉推進事業補助金による事業」として、全国のモデル地域5か所の一つに宮崎県が選定され、7月から12月にかけて事業を実施してきました。他のモデル地域は、北海道、青森県、京都府、山口県です。

趣旨は、地域における包括的に担うことができる社会福祉士を育成するためのプラットフォームづくりのパイロット事業として、現任の社会福祉士と社会福祉士を目指す学生に対し、養成団体、事業者団体、職能団体を中心とした実践的育成環境を構築するものです。

ソーシャルワーク機能を果たせる人材育成体制を構築するために、委員会メンバーを構成することが求められ、宮崎県においては、宮崎県、宮崎県社会福祉協議会、社会福祉法人経営者協議会、老人福祉サービス協議会、地域包括・在宅介護支援センター、精神保健福祉士会、医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉士会、都城市社会福祉協議会、九州保健福祉大学の方々と共に検討し、研修等を実施してきました。

社会福祉士会としては、関係理事に委員を担っていただきました。委員（敬称略）は、川崎、松永、渡部、下屋、池田、田淵、新名です。最終的に5企画を無事終了し、報告書まとめの段階に入ります。現任者の学び直し（実習）の必要性や学生への実習指導のあり方など社会福祉士職能団体として果たすべき役割も見えてきました。また、今回の委員会組織のおかげで各団体とのつながりもさらに強くなり、次のステップへの良い機会になったと思います。



権利擁護部門

- 成年後見人材育成研修の後半が11月3日、4日に行われ、県内が25名、県外が4名、合計29名の方が修了しました。その後、名簿登録研修が12月8日に行われ、県内が17名、県外が3名、合計20名の方が修了しました。家庭裁判所・各市町村等から受任依頼が来ております。ぱあとなあ会員の仲間が増えることとなり、さらなる活動の充実が図れるよう、新任の方を支援、盛り上げていきたいと思います。



倫理綱領と行動規範

社会福祉士会の倫理綱領については皆さん御存知だと思います。最近、総会や研修会等でもよくテーマとして出ています。

さて、倫理綱領と行動規範について、皆さんの社会福祉士としての行動を振り返った時、特に実践現場における倫理責任、他の専門職との連携・協働における行動規範について、遵守は当然ですが、倫理綱領と行動規範に反する具体的な例を意識していますか？

具体例を意識することで、自分自身の振り返りがきちんとできると思います。また、倫理綱領と行動規範に反する行動を起こさないということにつながると思います。平成最後の年です。皆さんもう一度倫理綱領と行動規範について自分自身を振り返ってみてください。



H31.1月～H31.3月の行事・イベント 《抜粋》

1月09日(水)	日向入郷ブロック勉強会 (障がい者分野)	日向市総合福祉センター
1月12日(土)	宮崎東諸県ブロック新年会 叙勲受賞報告会	ホテルマリックス2階
1月13日(日)	ぱあとなあ定例会・運営委員会	宮崎市総合福祉保健センター (宮崎市社協)
1月26日(土)	業務執行役員会(午前中)	宮日会館
1月26日(土)	宮崎県地域生活定着支援センター 普及啓発セミナー	宮日会館
2月2日(土) ・9日(土)【補講】	基礎研修Ⅲ第11日目	2/2 中研修室 2/9 介護研修室
2月09日(土)	ぱあとなあ定例会	宮崎県福祉総合センター中研修室
2月09日(土)	福祉サービス第三者評価委員会	未定(別途案内送付予定)
2月23日(土)	第4回理事会/第4回部門会	宮崎県福祉総合センター中研修室
3月10日(日)	ぱあとなあ総会・更新研修	宮崎県福祉総合センター大研修室
3月16日(土)	日本社会福祉士会総会	東京
3月23日(土)	第2回定時社員総会(午後)	未定(別途案内送付予定)
★ぱあとなあ定例会は毎月1回開催しております。 会場・日程等につきましてはホームページもご覧下さい。		

事務局より

- 住所・氏名・勤務先等の変更がありましたら、所定の様式【HPの入会案内メニュー内にある登録情報変更届出書】にて事務局までご提出ください。また、会費の口座変更等も同様です。あらためて振替用紙を送らせて頂きます。ご協力よろしくお願い致します。



今年もお世話になりました。みなさま良いお年をお迎えください。



事務局は年末年始【平成30年12月29日(土)～平成31年1月3日(木)】のお休みを頂きます。今年も会員の皆様のご協力を頂きましてありがとうございました。来年もどうぞ宜しくお願い致します。

すべてのお問い合わせは

一般社団法人 宮崎県社会福祉士会 事務局まで
宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター 人材研修館3階
電話 0985-86-6111